

平成29年 6月 1日

関係各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

5月31日～6月上旬にかけて、産出年別/産出国別に描く百合球根在庫表を送付いたします。
よろしくご確認ください。

2016年オランダ産/フランス産百合球根在庫表 (5月30日付)

FAX/Mailにて送信中です。

O.H/O.T系

当社におきましては、14年産/15年産にて大幅にO.H/O.T系の取り扱い数が減少しておりましたが(約8.8%減)、15年産/16年産については、横這い(約0.6%増)の動きとなっております。

残すところわずかな量となりましたが、スペースが空いている様でしたら是非お使いください。

A.H/L.A系

当社におきましては、14年産/15年産にて大幅にA.H/L.A系の取扱数が増加しておりました(約11%増)、15年産/16年産についてはやや減少(約3.0%減)の動きとなっております。

残すところわずかな量となりましたが、スペースが空いている様でしたら是非お使いいただけますようよろしく願いいたします。

当社の場合、全体取扱い数は、14年/15年 1.5%減(確定)
15年/16年 0.9%減(予定) という動きとなる予定です。

2016年産オランダ産/フランス産の特徴は、

当社試験栽培(3月中旬解凍、4月上旬温室設置)においてもその影響が残っていると推察できるくらい低温積算不足のロットが散見します。(決して休眠打破していないわけではないところを、表現するのが難しいのですが…)

前半切花作型においては、この事によるリン数不足(L.A/Longi/O.T)、葉焼け(O.H)等が確認されています。
3月後半以降の、定植作型からはこれらの問題が少なからず改善してきているように見えます。

主たる要因は、やや早掘り気味だった球根、早く処理温度を下げてしまった球根、特に球根生産時密植気味に定植されてしまった品種に、多く確認できたように感じています。(カ-ネの葉焼け、スーパーマスターのリン数不足、L.Aの一部品種ロットのリン数不足 etc.)

球根年齢、品種年齢が若い品種に無理をさせるのは禁物です。これらの品種・小球を販売したくても早掘りは絶対にさせてはいけません。同じ失敗は繰り返したくありません。(T1/T2/若い球根・品種は、球根の充実が一般的に遅くなるのです。)

営利切花生産圃場との比較で当社試験栽培温室の方が比較的リン数がついているように見えますので、極端に長い芽伸ばしをする作型を除けば、今後の抑制作型においては比較的良い仕事になるのではないかと存じます。

全国的には北半球産球根の入荷が前年同期比較で大幅に遅れているように見えます(4月末8.1%減約510万球)。大きな事故が出ないことを願っております。

2017年南半球産百合球根在庫表（5月31日付）

FAX/Mailにて送信中です。

N.Z産

掘り取り期を迎えています。

L.Aの掘り取り結果報告が入りました。

Rトリティ・チェザールともに肥大しすぎの為、欠品となる様です。

幸い自社確保在庫数にゆとりがあった為、皆様へはご迷惑をおかけせずに済みそうです。

N.Z産L.A確保数は、肥大し過ぎによる欠品の為、国内入荷量は大幅に減少することになる様です。
必要な方がおられましたら是非お声がけください。

O.H/O.T系の作況につきましては、まだその結果報告は入り始めておりません。

日本を含む世界市場に向けての販売状況は比較的順調な様子です。中国・台湾・ベトナム etc. のアジア市場においては、仮に球根作況良となり、余剰球が出てきたとしても、まずN.Z産にて確保するのが流れとなって来たようです。

球根品質の安定感もさることながら、N.Zの球根業界の一体感・安心感が支持され始めたようです。

O.H/O.T系がL.A同様、肥大しすぎの欠品となるかどうかは、まだ分かっておりません。

C.H産

当社自身の状況は、前年比での取扱数が大幅に増加する予定となっております（主にVLZV社産）。

世界市場に向けての販売状況は、N.Z産との比較で若干苦戦している生産会社/生産地がある様です。

特に、中国市場での状況が厳しい様子で、既に16年産で過剰だった球根の多くが中国市場に輸出されてしまった為、次作16年産オランダ産の球根保管流通に対してすら悪影響を与えてしまった様子です。

従って、前年比での取引進捗状況は、やや遅れ気味となっているようですが、結局それも生産会社別、産地別、品種別に、温度差がある様です…。

日本国内の球根業者が確保している17年産南半球産百合球根数は…、

A.H/L.A系は、ただでさえ前年比約40%減少していたことに加え、さらに欠品してしまう様子です。

16年産オランダ産の確保状況と合わせて結果的にかなりの減少につながっていくように見えます。

O.H/O.T系については、16年産で流通したと推定される球数より、17年産で確保されている球数は多めであると感じていますが、今後の作況状況により、前年並みの輸入量に落ち着いてくれればなあと願っています。
作況情報については…、「良い」というコメントしか聞かされておられません。

*例年の調整作業に入ります。対応の程よろしく願いいたします。

今回の在庫表から、欠品・変更準備と捉えていただければ幸いです。

2017年産国産百合球根在庫表（新潟県産早掘り・遅掘り・小清水産）

お問い合わせください。

2017年オランダ産/フランス産百合球根在庫表（6月1日付）

近日中にFAX/Mail/郵送いたします。（枚数が多くて申し訳ございません。）

5月末までに発注確保した球数は、前年の総取扱予定数との比較で約84%。

昨年同時期との比較では、106%となっております。

これまでに頂いたご注文につきましては、前年の総取扱予定数との比較で約50%。

昨年同時期との比較では、99%となっております。

誠にありがとうございます。

今月までにご注文いただいている品種/サイズと、確保できた球根との整合性を取り続けておりましたが、2品

種2規格にて作業が完了しておりません。

- ①カブラシカ/開花球・養成球…帰国後現地状況を反映し、調整作業に入ります。
- ②シベリアFR(フランス産)/開花球…帰国後現地状況を反映し、調整作業に入ります。

その他の品種の受注調整作業は、現段階では終了しております。よろしくご承知おきください。

月明けには、現段階での受注表をお送りいたします。
くれぐれもご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

6月1日付発行の在庫表からは、調整終了後の資料となりますので、前回までのものに比べればますますの精度となってきたと存じます。

前回までにお引き受けできなかった品種の在庫が復活してきているケースがございます。再度導入検討いただければ幸いです。

17年産は…、

取扱輸入業者は悩み深い年となっております。

3～4年前から話題になり始めていた様々な課題を、本格的に球根導入に反映させていく年となるのではないのでしょうか？

蓄積してきた情報や知識をフルにご活用いただき、切花生産者/切花生産地/皆様の「自己表現」「経営表現」「思い」を百合切花ユーザー様・消費者様に伝えられるような球根導入のお手伝いをさせていただけたら幸いです。

よろしくお願いいたします。

以上
森山 隆